

TOKAMACHI Life

平成29年度 十日町市 市勢要覧



とおかまち
ライフ

～元気を未来へ～

とおかまち ライフ

～元気を未来へ～

Contents

	特 集
	とおかまちの元気のヒミツ教えます！
03	1 シティプロモーション／「大地の芸術祭」の里 鉢&田島征三 絵本と木の実の美術館
05	2 シティプロモーション／大地の芸術祭 大地の芸術祭
07	3 シティプロモーション／地域資源の発信（食と農） 松之山温泉 雪国ガストロノミー ブランド豚 妻有ポーク
09	4 人口減対策／移住定住促進 新規就農者 ホーリーバジル生産農家 移住者 いこて 料理スタッフ
11	5 人口減対策／子育て支援・結婚促進 十日町おやこ劇場 わくわくキッズ とおかまち ハッピー婚シェルジュ
13	6 バイオマス産業都市構想／再生可能エネルギー 木質バイオマス
15	市長あいさつ 「選ばれて 住み継がれるまち とおかまち」 を目指して
	みんなのまちづくり
17	1 人にやさしいまちづくり 【教育】
19	2 人にやさしいまちづくり 【福祉・介護】
21	3 活力ある元気なまちづくり 【産業】
23	4 活力ある元気なまちづくり 【観光・交流】
25	5 活力ある元気なまちづくり 【歴史文化】
27	6 活力ある元気なまちづくり 【文化・スポーツ】
29	7 活力ある元気なまちづくり 【国際交流・インバウンド事業】
31	8 安全・安心なまちづくり 【生活・環境・医療】
33	9 まちづくりの実現のために 【協働のまちづくり・行財政改革】

十日町市民憲章

十日町に生きる私たちは日本にほんを生きる

日本にほんに生きる私たちは世界を生きる

世界に生きる私たちは宇宙を生きる

私たちをつくるのはひとりひとりのヒト

ヒトはひとりでどう生きるかの技アートを求め

ヒトはヒトとどう創つくるかの技アートを究める

野に山にヒトは学び 里さとに町にヒトは勤いそしむ

縄文の炎ほのおを今日きょうに伝えて 雪の白しろに明日あすを描えがき

限らない大空のもと 十日町市の大地に生きる

市民憲章ができるまで

市民から市民憲章に入りたい言葉を募集したところ、雪・縄文・芸術・思いやりなど、さまざまな言葉が集まりました。十日町市に縁のある谷川俊太郎さんが、その集まった言葉に込められた市民の思いや願いを基に起草しました。

谷川俊太郎さん プロフィール

東京都出身。詩人、翻訳家、絵本作家、脚本家。大地の芸術祭作品「夢の家」から2012年に書籍化された「夢の本」に寄稿。「二十億光年の孤独」「生きる」「朝のリレー」「愛する人のために」（以上詩作品）、「スイミー」「スヌービー」（以上翻訳）、「鉄腕アトム」（作詞）他、脚本や絵本、評論、エッセイなど多数の作品がある。

Hachi & Seizo Tashima Museum of Picture Book Art Story & Art Lies Between the Mountains

After closing in 2005, Sanada Elementary School, located in Tokamachi City's Hachi village, was reborn as an art museum on July 26, 2006. Envisioning the entire space as pages of a picture book, artist, Seizo Tashima, worked with many local people and volunteers to bring his idea to life. The Hachi village and Tashima's museum is now known as the "Hachi & Seizo Tashima Museum of Picture Book Art; it will capture your imagination and inspire a variety of experience."

鉢 & 田島征三 絵本と果实の美術館

在山間村落，艺术和故事生生不息。

在这个名为“鉢”的村落里，2005年闭校的真田小学，于2009年7月26日重生为美术馆。美术馆本身，就是绘本作家田岛征三长年构思绘制而成的空间绘本。

通过鉢村落的人们和很多志愿者的合作，田岛的形象变为形象，空间绘本变成了现实的物体。

通往美术馆的道路、鉢村落、美术馆本身，该作品能够品味所有空间各自的感性。这就是“鉢 & 田岛征三 絵本と果实の美術館”。

COLUMN

「大地の芸術祭」 の里

大地の芸術祭の作品は恒久的に展示されているものも数多くあります。その作品が地域に豊かな息吹を与え、地域活性化につながっています。それは、いつ訪れても出会いや感動があり、変化し続ける「大地の芸術祭」の里としての魅力となっています。



■うぶすなの家(下条願入)

1924年築、越後中門造りの茅葺き民家を「やきもの」で再生した作品。1階は、郷土料理を提供するレストラン。2階は、やきものの展示空間。料理を提供する集落の女衆たちの笑顔とおしゃべりも人気です。



■奴奈川キャンパス(松代室野)

2014年に閉校した奴奈川小学校が、地域の価値を実践的に学ぶ学校として生まれ変わりました。農業をベースに、食・生活・遊び・踊りを通して、新たな自分を発見する場を開放。学食スタイルの食堂もオープン!



尾身さん 鉢は、山間にあるいわゆる高齢化集落といわれるところですが、もともと団結力があって明るく元気な集落でした。県の施策「ユーにいがた里創プラン(1994年)」に、当時の十日町広域行政圏が第1号認定されたとき、集落の未来を見つめ行動するという目的で、若手10名が集まり1997年に結成した「鉢未来フォーラム21」が集落と合同で真っ先に手を挙げました。里創プランからの流れで、大地の芸術祭には第1回から集落を挙げて関わってきました。2009年第4回芸術祭の拠点施設として絵本と木の実の美術館がオープン。子どもたちからお年寄りまで美術館づくり作品づくりを手伝いました。今では、鉢に訪れる人々との交流にも慣れ、美術館が集落に溶け込んでいるかのようです。



天野さん 出身は埼玉県。大地の芸術祭には学生時代からボランティアとして参加。2009年に美術館立ち上げスタッフとしてNPO越後妻有里山協働機構に所属しました。ほぼ同時に鉢集落に移住。以後は、集落の人たちに協力していただきながら、美術館の企画・運営管理などを行っています。鉢の魅力は人。助け合いながら暮らし、人情に厚く、笑顔とエネルギーに満ちています。多くの人が訪れ、リピーターとなって、鉢を愛してくれます。ファンが増えていますよ。

■鉢&田島征三 絵本と木の実の美術館

ここ「鉢」にある、2005年に廃校になった真田小学校が、2009年7月26日、空間絵本美術館として生まれ変わりました。

美術館は丸ごと、絵本作家の田島征三さんが長年思い描いてきた空間絵本です。主人公は真田小学校の最後の在校生だったユウキ、ユカ、ケンタの3人。そして学校に棲む、夢を食べるオバケ、夢をつぶすオバケ…。その世界を表現するのは、流水や木の実、和紙を使ったオブジェたち。「鉢」の人たちと多くのボランティアスタッフの力で、田島さんのイメージが一つひとつ形になり、空間絵本が現実のものとなりました。

美術館への道のり、鉢集落、美術館そのもの。すべての空間をそれぞれの感性で味わえる作品。それが「鉢&田島征三 絵本と木の実の美術館」なのです。(文・高橋真理子さん※一部省略)



山間の集落に、アートと物語が息づいています。



NPO法人越後妻有里山協働機構スタッフ
鉢&田島征三 絵本と木の実の美術館スタッフ
天野 季子 さん



鉢地区長／鉢未来フォーラム21代表
尾身 浩 さん

Echigo-Tsumari Art Triennale

Discover the Satoyama through Art: A Region-Wide Museum of the Earth Created with the Core Principle, "Human Beings are a Part of Nature"

The Echigo-Tsumari Art Triennale, held once every three years in the Echigo-Tsumari region (Tokamachi City and Tsuman Town), transforms the area into the world's largest outdoor art gallery. Using art as a medium to (re)discover the attraction and values of the satoyama landscape and life-style, the festival continues to attract many people to Tokamachi City, creating opportunities for regional revitalization.

大地艺术节

用五官通过艺术感受山村魅力的大地博物馆。以“人类融入自然”为基本理念，通过艺术宣传地区的价值和魅力。

大地艺术节越后妻友艺术三年展，是以越后妻有地区（十日町市、津南町）的山村为舞台，而举办的三年一度的人类的土地和美术的艺术节。

以现代艺术为媒介，努力对地区内在的各种价值进行深挖，将其魅力升华，让世界了解这里，从而构筑地区重建之路。



■アヌサバティ「SOUND TOWER 音の塔」
Photo by Gentaro Ishizuka



■アネット・メサジェ「つんねの家のスペクトル」
Photo by Gentaro Ishizuka



■ナウイン・ラワンチャイクン「赤倉の学堂」
Photo by Gentaro Ishizuka

COLUMN

オーストラリアハウス

松之山浦田地区にある「オーストラリア・ハウス」は、大地の芸術祭で育まれたオーストラリアと越後妻有との絆によって生まれた日豪文化交流の拠点。オーストラリア政府・機関、地区住民やサポーター等の支援を受けながら、多くのオーストラリアからのアーティストが滞在し、交流を続けています。



2017年秋の会・アボリジニ金管楽器「ディジュリッドゥ（紙製）」づくり

「人間は自然に内包される」を基本理念に地域の価値や魅力をアートで発信

大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレは、越後妻有地域（十日町市、津南町）の里山を舞台に3年に1度開催される人間の土地と美術の芸術祭です。

「人間は自然に内包される」を基本理念に、地域に内在するさまざまな価値を現代アートを媒介として掘り起こし、その魅力を高め、世界に発信し、地域再生の道筋を築いていくことを目指しています。

2000年のスタート以来、2015年までに6回開催され好評を博しています。また、芸術祭開催後に地域の資源として残った作品も数多く、トリエンナーレ



■雪見御膳
(Photo by Osamu Nakamura)

民家などを会場に、地元のお母さんたちの手作り料理を御膳でいただく、「雪見御膳」を味わえるツアー（ガイド付）を毎冬開催し好評を得ています。

■越後妻有 雪花火
(Photo by K Takashi)

積雪3mを超える豪雪地・越後妻有で、花火、アート、郷土料理などが楽しめるイベント。凍とした透き通る冬の夜空に花火を打ち上げ、闇の中に真っ白な雪景色を浮かび上がらせます。参加者の足元には約30,000個の光の種（LED）を雪原に埋め込み、花火を現出させる高橋匠太の「Gift for Frozen Village」の幻想的な世界が広がっています。



開催期間以外にも四季折々の里山の自然と現代アートが楽しめる「大地の芸術祭の里」として来訪者をお迎えしています。

アートを通じて里山の魅力を五感で感じる、大地のミュージアム。



■ジミー・リャオ「Kiss&Goodbye」(土市駅)
Photo by Ayumi Yanagi



■イリヤ&エミリア・カバコフ「人生のアーチ」
Photo by Gentaro Ishizuka

ブランド豚 妻有ポーク



若い力で地域農業・養豚業をリードする
妻有畜産グループの仲間たち。

【シティプロモーション／地域資源の発信（食と農）】



妻有畜産グループ代表
妻有畜産株式会社 代表取締役
澤口 晋さん

The Tsumari Pork Brand

Tsumari Pork is a local brand sourced from nine farms across Tokamachi City and Tsuman Town. Committed to producing delicious pork which also guarantees consumer safety, the farmers rear these pigs on chemical-free feed, and without the use of antibiotics.

ブランド猪 妻有猪

在十日町市、津南町，由 9 家农场组成的妻有畜産集团，以“为消费者提供安全、安心、好吃的猪肉”为理念，生产有其独到之处的猪肉。



各農場に見合った衛生管理体制を確立することで、全9農場が「クリーンポーク生産農場」として県畜産協会から認定されています。

学校の給食で「妻有ポーク」が採用されています。今後も、地域をリードするブランド豚としてPRに努め、地産地消を推進していきたいですね。

安全・安心なおいしい豚肉を、
安定的にお届けしています。

特集

とおかまちの元気のヒミツ教えます！3

松之山温泉 雪国ガストロノミー



自分たちの手で調達した食材をシェフに調理してもらい、
味わい、語り合い、飲みかわす至福の時間。



松之山温泉合同会社 まんま代表
ひなの宿ちとせ 館主
柳 一成さん

Snow Country Gastronomy at Matsunoyama Onsen

Matsunoyama Onsen aspires to provide cuisine that best expresses our identity as a Snow Country onsen area. Also, we are developing methods to utilize the geothermal heat of our onsen waters, while making improvements to our landscape design.

松之山温泉 雪国美食学

在松之山温泉，人们追求雪国山村温泉地独特的美食学，致力于活用温泉热、改善景观、企划餐饮活动等，并向国内外大力宣传。

雪国の温泉地ならではの
食文化を発信しています。

その土地ならではの食や体験を通じて、地域の自然、歴史、文化などの魅力に触れ、楽しむことをガストロノミー（美食学・美食術）と言います。つまり、その土地のものを、その土地で、その土地の持つストーリーを楽しむながら味わうこと。幸い十日町市には、地場野菜や発酵食、きのこや山菜、十日町産魚沼コシヒカリ、へぎそば、地酒など、豊かな雪国食文化があります。松之山温泉では、雪国にある里山の温泉地ならではのガストロノミーを追求し、温泉熱の活用や景観整備、プランディング、体験プランや食イ



ブランド豚「妻有ポーク」を松之山温泉の熱で調理した「湯治豚」。低温でじっくり加熱することで実現する、しっとりとした柔らかさが人気です。

ベントの企画、新メニューや新商品の開発などに取り組み、国内外に発信しています。



十日町産業文化発信館「いこて」店長(写真中央)とシェフ(写真左)とともに、気軽に立ち寄れるまちなかのふれあいスペース「いこて」は、1階がレストラン、2階が多目的ルームになっています。

【人口減対策／移住定住促進】

移住者 いこて 料理スタッフ



十日町産業文化発信館「いこて」料理スタッフ
柴山 紗希さん

Incomer Chef at Ikote

"I grew up in Saitama Prefecture but found work in a restaurant in Tokamachi as I wanted to escape the city. The fresh, seasonal ingredients here inspire me, and I'm grateful to all the producers who work hard to create these delicious seasonal flavours."

Saki Shibayama
Chef, Tokamachi Industry and Crafts Center IKOTE

移住者 "Ikote 烹饪人员"

在十日町，不同季节有不同的新鲜食材，我为之而感动。而这些应季食材都是由生产者送来的，我对他们十分感谢。

十日町产业文化発信館 Ikote 烹饪人员
柴山 纱季



「新鮮でおいしい旬の食材を届けてくださる生産者の皆さんに感謝。食材のこと、十日町のことなど、いろいろ教えてもらってます。私にとって大切な時間です。」柴山さん

と何より、食材が新鮮で旬を味わうことができること、生産者の人々と気軽に交流できることに日々感動しています。

季節ごとに出会える十日町の 新鮮な食材に感動してます。



特集
とおかまちの元気のヒミツ教えます！4

農薬や化学肥料を使用せずに栽培したホーリーバジルの生産・加工販売は、始めて4年目。「大好きな松之山で大好きな家族とこの仕事を続けていきたい」と嶋村さん。



まつのやま茶倉(神目帯茶生産販売)
嶋村 彰さん

New Farmer Holy Basil Farmer

"I am originally from Saitama Prefecture, but I chose to move to Matsunoyama because of the beautiful nature and friendly people here. Holy basil makes herbal tea which is both delicious and healthy. I love the Matsunoyama region, and I would like to continue growing holy basil here"

Akira Shimamura
Tea Producer, Matsunoyama Chakura

新农民 “圣罗勒种植农户”

能够生活在松之山舒心的自然环境中，和亲切的人们相处，我心中充满感激之情。

我想在最爱的松之山和最爱的家人们一起继续从事这个工作。

松之山茶倉(种植销售神目帯茶)
嶋村 彰

出身は埼玉で、高校の頃からスノーボード仲間と新潟県各地のスキー場で滑っていました。そのまま新潟県に移住。中越大地震、仮設住宅での暮らし、アジア一人旅を経て、十日町市出身の妻と結婚し、十日町で林業や農業関連のアルバイトや芸術祭のお手伝いをしたりしていました。そこで知り合った松之山の人々の人柄や大自然の中での暮らしが素敵で、「ここで暮らしたい」と決意。黒倉の見晴らしのいい民家を譲り受け、市や県の助成や支援を受けながら、知人の大工さんや仲間と一年がかりでリフォームし



「長野県の大鹿村ではじめてみたホーリーバジルの花畑に感動し、越後三山の山並みをバックにこの美しい花を咲かせたいという思いがはじまりました。松之山の大地をお借りして、我が子のように手塩にかけ育てたホーリーバジルをお茶にしています。」嶋村さん

松之山の大きな自然と人々に 包まれた暮らしに感謝してます。

ました。運命的に出会った紫の美しい花・ホーリーバジル(神目帯)を前庭に植えることに。これがとてもおいしくて健康にいいハーブティーになることを知り、生業にしようと思いました。



とおかまち ハッピー婚シエルジュ

古高 徳之 さん

さつき さん

【人口減対策／子育て支援・結婚促進】



■ハビ婚サポートセンター とおかまちマリアージュ
とおかまちハッピー婚シエルジュは、定住促進や少子化対策として市が行っている婚活サポート事業。センターには、結婚支援コーディネーター2名が常駐し、結婚を希望する独身者の相談・会受付・マッチング（お見合い）を行っています。

“Happy-kon” Marriage Support Center

The “Happy-kon” support center employs two marriage support coordinators who are available to support those searching for a marriage partner with consultancy and matchmaking services. These activities are a part of Tokamachi City's ongoing effort to counter a declining birth rate and attract people from outside the region to settle in the city.

十日町 快乐新婚礼宾服务

这是十日町市作为人口减少对策和少子化对策的一环，而进行的结婚促进事业。快乐新婚支援中心，有两名结婚支援红娘常驻，受理想结婚的单身人士的咨询、办理入会手续、进行配对（相亲）。

徳之さん 妻とは、2015年3月に開催された「ハビ」コンクッキングパーティー」で知り合いました。男女20人が参加しましたが、皆さんリラックスしていて、とても和やかで楽しい時間を過ごせました。私と妻とは初対面でしたが、第一印象で惹かれ、自分から声を掛け、すぐに意気投合して連絡先を交換。私は中里、妻は松代に住んでいたため、休日になると私が迎えに行き、一緒に食事やドライブに出かけて、いろいろな話をしましたね。出会いから1年半後の2016年10月に結婚しました。優しくて明るい

ころが好きになり、何の変哲のない毎日も妻と一緒に過ごすことが楽しく感じられます。
さつきさん 初対面の時から感じがよくて優しい人だなと思いました。それは結婚した今も変わりません。結婚と同時に、中里にある夫の実家で夫の両親と同居しています。最初は、いろいろな戸惑うことも多かったのですが、夫の家族はもちろんご近所の皆さんも親切にしてくださり、中里での生活にも慣れてきました。十日町市は、いろいろな面で制度が充実していて、暮らしやすいと感じています。

出会った頃の気持ちを忘れずに
十日町市で暮らしていきたいですね。



特集 とおかまちの元気のヒミツ教えます！5

「わくわくキッズ～英語とリズム」は、毎月第1・3木曜日に未就園児と保護者の親子を対象に行っている定例活動です。赤ちゃんもママさんも楽しそう！

わくわく キッズ とおかまち おやこ劇場



十日町おやこ劇場代表

丸山 恵さん

Tokamachi Parent-Child Playhouse

Since opening in 1992, our fun-based programs have been supporting new mothers in raising healthy and happy children. We offer a space for parent-child emotional interaction, and provide an important platform for new mothers to connect with one another.

十日町親子劇場 Wakuwaku Kids

“Wakuwaku Kids～英語とリズム”是以入园前儿童和其监护人为对象举办的定期活动。小婴儿和妈妈都开心！这里是增进父母和子女接触的场所，还为育儿妈妈们提供了交流的空间。



「感性豊かに育ち合おう」「文化で子育て」をモットーに、アーティストを招いて開催する年3～4回の鑑賞会のほか、キャンプ（小学校高学年）や豆まき、クリスマス会、親子作品展、親子教室「わくわくキッズ」などの活動を

親子や仲間で感動を共有することで
豊かな感性や情緒が育まれます。
十日町おやこ劇場は、人形劇、演劇、コンサートなど良質な生の舞台を親子で鑑賞したり、さまざまなイベントや教室に参加したりと、親子や仲間と楽しい時間や感動を共有することで豊かな感性や健やかな情緒を育んでもらいたいという思いで、1992年にスタートしました。
「感性豊かに育ち合おう」「文化で子育て」をモットーに、アーティストを招いて開催する年3～4回の鑑賞会のほか、キャンプ（小学校高学年）や豆まき、クリスマス会、親子作品展、親子教室「わくわくキッズ」などの活動を

行っています。幼児から小学生はもちろん、OBのお兄さんやお姉さん、そして大人も一緒に楽しんでいます。親子のふれあいの場、子育てママ同士のコミュニケーションの場にもなっていますよ。

Creating Renewable Sources of Energy with our Rich Natural Resources

Tokamachi City is engaging with projects that utilize the abundant natural resources in the region as sources of renewable energy. We are aiming to produce at least 30% (90,000 MWh) of our electricity from such renewable sources by 2025.

In October 2016, we were nationally recognized as a "Biomass Town". We are undertaking six projects, including biomass fuel combustion of thinnings and used-diapers. In this way, we are utilizing a variety of sources to generate energy, and these sources range from everyday waste to untapped natural resources.

Additionally, we are generating power from the flowing waters of the Shinano River, while developing methods to utilize the geothermal heat of Matsunoyama Onsen.

利用丰富的地区资源，创造可再生能源。

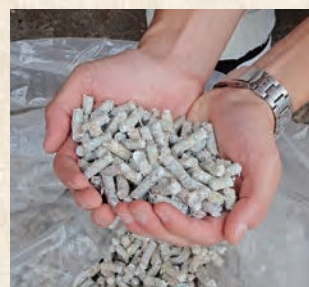
十日町市正在推动利用该地区丰富的资源，到 2025 年，实现市内总用电量 30% (9000 万千瓦时) 由再生能源提供。

2016 年 10 月，十日町市作为“生物质产业都市”，受到国家认证。我们推出了包括间伐材和使用过的纸尿布燃料化在内的 6 大事业，从未利用的资源到日常生活中排放的废弃物，都当作能源有效利用。

另外，还积极推动活用了流动着的信浓川丰富水资源的水力发电、利用了松之山温泉温泉的地热发电。

COLUMN

紙おむつの燃料化事業



「使用済み紙おむつは毎日出るゴミですし、衛生面でも手間がかかります。回収してもらってそれが燃料になるなら、市の事業としてぜひ取り組んでほしいですね」中里なかよし保育園児保護者・河田 翔子 さん



■再生可能エネルギー30%創出 十日町市の代表的なエネルギー政策の取組みを一覧にまとめたものです。

豊富な地域資源を活用し、再生可能エネルギーを創出

再生可能エネルギーとは、石油や石炭、天然ガスなどの化石エネルギーとは違い、太陽光や水力、風力、地熱、生物資源であるバイオマスなど、自然界に常に存在し環境に優しく、枯渇の心配が無いエネルギーです。

十日町市では地域内にある豊富な資源を活用し、2025年度までに市内総電力消費量の30%（9千万キロワット時）を再生可能エネルギーで創出する取組みを推進しています。

2016年10月には「バイオマス産業都市」として国から認定を受けました。間伐材や使用済み紙おむつの燃料化を含む6つのプロジェクトを掲げ、未利用の

資源から生活の営みによって排出される廃棄物に至るまで、エネルギーとして活用します。

また、信濃川を流れる豊富な水資源を活用した水力発電や、松之山温泉の温泉熱を利用した地熱発電も計画しています。

持続可能な低炭素・循環型社会の実現を目指して

これらの取組みは、温室効果ガスの排出を抑制し、地域内で生み出したエネルギーを地域内で消費することができるため、持続可能な低炭素循環型社会の形成に貢献します。

また、新たな産業創出による雇用の拡大、経済の活性化など様々な効果を得ることが期待できます。



1. ■宮中取水ダム

JR東日本・宮中取水ダムからの維持流量を活用し、河川環境に配慮した水力発電の検討を進めています。

2. ■地中熱利用

十日町地域消防本部では、地中熱を空調、融雪の熱源に利用しています。

3. ■下水熱利用

きらきら西保育園に下水熱を利用した空調設備を導入しました。



使い道のなかった間伐材を材料にした木質ペレット燃料の製造を通じてエネルギーの地産地消に貢献しています。



特集

とおかまの元気のヒミツ教えます！6
「バイオマス産業都市構想／再生可能エネルギー」

木質バイオマス



■再生可能エネルギー活用促進補助

住宅に設置する再生可能エネルギー機器への補助を行っています。県内トップクラスの助成で市民の自然エネルギー利用への取組みを支援しています。



■木質ペレット

使い道のなかった間伐材を細かく粉碎し、加熱・圧縮・形成した木質固形燃料です。

十日町市の美しい自然と環境を残していきたい。

高木沢企業株式会社 工場長 渡部 和彦 さん（写真右）

市の再生可能エネルギー創出への取組みに合わせて、2006年から木質ペレットの製造を行っています。間伐材などを大型の機械で粉碎して加熱・圧縮・形成。できあがった木質ペレットは、一般家庭のペレットストーブや温泉施設、事務所のボイラーなどに利用されています。地域の資源を地域のエネルギーとして活かしながら、循環型バイオマス燃料として地球温暖化対策にも貢献しています。市内の需要増加に応じて増産体制を整えていくことで、今後も地域社会に貢献していきたいですね。



越後妻有文化ホール・十日町市中央公民館「段十ろう」

「選ばれて 住み継がれるまち とおかまち」を目指して

雪降る里の自然環境と
現代の多様な生活様式が融和した質の高い暮らしと、
相互扶助の精神あふれるまちづくりを追求します。

十日町市の最大の魅力は、先人より脈々と受け継がれてきた里山の自然と、そこに根ざした生活文化です。このかけがえのない財産にさらに磨きをかけ、未来に受け渡すことが私の大切な役目です。それには、多くの人からもちこの土地を知っていただき、みんなで知恵を出し合いながら魅力あふれるまちづくりを進めていくことが大切だと考えます。

地域の活性化を目的として20年余り前から取り組み始めた、「大地の芸術祭」は、多くの人たちからの応援のおかげで、国内外から注目される、市の一大ブランドとして成長しました。人と人をつなげる交流のプラットフォームとして、地域に多様な価値観を生み出すと共に、新たな人とのつながりを創り出し、何よりも山間地の住民が余所者^{よそもの}を受け入れられる精神土壌を育みました。

そのような土壌が醸成される中、十日町市は全国でも先進的に取り組んだ地域おこし協力隊員や、この土地に新しい生活を求めて移り住んで来られた人々たちを、地域全体で受け入れ、応援をしてきました。今ではその多くの人たちが、この里山の地に根を張り、家庭を持ち、幅広い分野で活躍し、地域に元気と活力をもたらしています。

そして、この里山で暮らす人たちが、里山の恵みを最大限享受できるよう、新たな自然エネルギー政策への取組みを進めています。雪国の名が示すとおり、膨大な雪解け水の恩恵による豊富な森林材と水資源、また日本三大薬湯として知られている松之山温泉の地熱など、この地域特有の資源を生かした再生可能エネルギーの創出と、その利活用により、持続可能な循環型社会を目指していきます。



十日町市長 関口 芳史

十日町市では本編でも詳しく紹介している4つの基本方針を定めてまちづくりを進めています。1つ目は「人にやさしいまちづくり」。2つ目は、「活力ある元気なまちづくり」。3つ目は、「安全・安心なまちづくり」。最後に、この3つの基本方針を実現させるために、限りある財源を一層効果的・効率的に活用する自治体運営・行財政改革です。

この4つの基本方針を片時も忘れることなくまちづくりを進めることで、先人から受け継いだ里山の生活の魅力をさらに磨き上げられると確信しています。

明治開闢^{かいびく}以来150年間の中央集権の大きな流れで失った、人、モノ、金、エネルギーをこのまちに取り戻すことが私の使命です。そのために、世界にメッセージを発信し、応援してくださる仲間

間との絆を深め、十日町市のプレゼンスをさらに高めていきます。雪降る里の豊かな自然環境と現代の多様な生活様式が融和した、質の高い暮らしと、共に支え合う相互扶助の精神あふれるまちづくりを追及し、多くの人たちから選ばれ、次世代に住み継がれるまちとなるようこれからも歩み続けます。

Mayor's Greeting

“Creating a community which values mutual support, and a higher quality of life that integrates a contemporary lifestyle with the bountiful nature of our snowy homeland”

Yoshifumi Sekiguchi Mayor, Tokamachi City

Our greatest treasure is our satoyama way of life. It's a precious inheritance from our ancestors, which is rooted in our bountiful natural environment. I believe that in order to protect it for the future, it's important to collaborate with a diverse network of people who, through mutually sharing their knowledge and ideas, can sow the seeds of growth needed to develop a more attractive society.

For instance, Tokamachi City has been transforming through the Echigo-Tsumari Art Triennale, a contemporary art festival which began almost twenty years ago. Thanks to the support of many people, the Triennale has grown into a major brand for the city, attracting supporters across the globe, and stimulating exchange and community revitalization.

We're a city which welcomes the outsider with open arms, and many people from a range of backgrounds and professional fields, such as our "Local Vitalization Cooperators", are finding a permanent home here. I believe that all of these incomers, and all of our citizens, have the right to a lifestyle which benefits fully from the satoyama's natural blessings. In order to secure this, we are aiming to becoming a sustainable society with major commitments such as a renewable energy policy.

Together, we are building a community which values mutual support, and a higher quality of life that integrates a contemporary lifestyle with the beautiful nature of a Snow Country region. My wish is for Tokamachi City to become a city chosen by many people, able to provide everything needed for them to settle here for generations to come.

市長致辞

**我们追求雪国的自然环境和现代多样的生活方式相融合的高品质生活，
我们穷极充满了相互扶助精神的城市建设。**

十日町市長 関口 芳史

我们追求雪国的自然环境和现代多样的生活方式相融合的高品质生活，我们穷极充满了相互扶助精神的城市建设。

十日町市最大の魅力は先人世代傳承至今的山村の自然環境和扎根于此的生活文化。将这些无价的财富继续发扬光大传至未来，是我重要的职责。此外，我认为让更多的人了解这片土地，集思广益把充满魅力的城市建设继续推进下去，这些也很重要。

为了使地区更有活力，从20多年前开始举办的“大地艺术节”，在很多人的帮助之下，已经成长为受国内外瞩目的我市一大品牌。该活动作为连接人与人之间的交流平台，在当地创造出多种多样价值观的同时，还建立了新的人与人之间的纽带，最重要的是培养了山区居民接受外来人的精神土壤。

在这种土壤的培养过程中，十日町市倾注全市的力量来接受、支援在全国也走在前列的地区振兴合作队员，和为了追求在这片土地的新生活而移居来的人们。现在，很多移居来的人已经在山村扎根，组建家庭，在很多领域发挥作用，为地区带来活力。

而且，生活在山村的人们，为了能够最大限度地享受山村的恩惠，还积极推行新自然能源的举措。正如雪国之名所示，这里有大量雪融水的恩惠而形成的森林资源和水资源，还有被称作日本三大药汤之一的松之山温泉的地热等当地特有的资源。我们的目标是通过这些资源创造可再生能源，并通过其利用创造可持续发展的循环型社会。

在十日町市，以本篇也有详细介绍的4个基本方针为指导，积极推进城市建设。1是“对居民亲切的城市建设”。2是“充满活力干劲十足的城市建设”。3是“安全・安心的城市建设”。最后是，为了实现这3个基本方针，更有效果、更有效率地运用有限财政资源的自治体运营・行政财政改革。推进城市建设的时候，这4个基本方针我们一刻也不会忘记。我们坚信先人传承下来的山村生活的魅力，今后会更加发扬光大。

从明治翻天覆地以来，150年间中央集权的大潮造成了当地人才、物资、金钱、能源的流失，而我的使命是重振城市雄风。为此，要向世界进行宣传，加深和帮助我们的友人之间的羁绊，提高十日町市的影响力。我们追求雪国丰富的自然环境和现代多样的生活方式相融合的高品质生活，我们穷极充满了相互扶助精神的城市建设。为了让十日町成为民所选，并能世代生活的城市，我们将继续奋斗。



ハートウォーミング集会(まつのやま学園)

「ふるさとを愛しふるさとのよさを誇れる生き生きとした子ども」をめざして、松之山の伝統文化に学ぶ「まつのやまタイム(ふるさと学習)」や、英語と「コミュニケーション力」を身に付ける「E+タイム(英語教育)」など、まつのやま学園ならではの学びづくりを実践しています。義務教育の9年間を心身と学びの発達に着目して、小中の63制から「ホップ期1~4年」「ステップ期5~7年」「ジャンプ期8~9年」の432制へと発展させました。また、施設一体型の貫校であることの利点を生かして、「二人」一人の大切な9年間を小学校籍と中学校籍の職員が一体となって協力して育てるという協働の教育に取り組んでいます。



小中一貫校まつのやま学園 学園長
(十日町市立松之山小・中学校)
久保田 智恵美さん

一人一人の成長に学校と地域全体が寄り添う教育を。



■英語教育推進事業

外国人の先生との英会話を楽しむ一日英語体験「イングリッシュ・キャンプ」、郷土のよさを知り英語で発信・交流するガイドを育成する「英語ボランティアガイド養成講座」、英会話に親しみ英語によるコミュニケーション能力を高めることを目指す「土曜英会話寺子屋塾」など、地域の未来を担う子どもたちが外国の人々とのコミュニケーションできる英語力や豊かなグローバルマインドを身につけられるようさまざまな取り組みをはじめました。



■和装教育事業

十日町市では中学校1年生が和装文化を学習しています。(写真は下条中学校)



■ふるさと教材「ふるさと十日町」



Supporting the Growth of our Children

Working to improve our schools, and towards an educational practice based on the principles of coexistence, we are developing educational programs that utilize our local resources such as the local community, nature and culture. We hope to nurture a love of their hometown in our children, and provide them with the support they need to develop into independent adults.

为支持孩子们的成长

为创建更具魅力的学校，面向基于共生理念的教育实践，我们展开了活用各个地区资源(人・自然・文化)的特色教育活动。同时，我们为将孩子们培养成“热爱家乡十日町市，自立自强奉献社会”的人才，提供全力支持。



ふるさと信濃川教室の一環「ラフティング体験学習」

英語に親しみコミュニケーション能力を育む
「E+タイム」授業風景(まつのやま学園)



より魅力ある学校づくり、共生の理念に基づいた教育の実践に向け、それぞれの地域の資源(人・自然文化)を生かした特色ある教育活動を展開しています。そして、子どもたちが「ふるさと十日町市を愛し、自立して社会で生きる」ことのできる人間に成長できるよう支えます。

人にやさしいまちづくり
【教育】

子どもたちの成長を支えるために



子どもたちの健やかな成長のための教育環境の充実

子どもの豊かな学びと育ちを目指して、小中一貫教育に取り組み、2017年4月には市内初の小中一貫校「まつのやま学園」を開園しました。また、グローバルな人材の育成を目指す、市全体の英語教育の推進に向けた様々な事業を行っています。さらに、地域の魅力・誇り・宝物が詰まったふるさと教材「ふるさと十日町」を活用した特色ある教育活動を推進していきます。学校給食では地産地消を推進し、安全安心な給食の提供を行います。「ふるさと十日町市」を愛し、自立して社会で生きる一人材の育成を目指して教育環境を充実していきます。



笑いヨガ (写真はケアセンター三好園しんぞ)

2016年4月、「妻有地域包括ケア研究会」は、住み慣れたふるさとで高齢者や障がい者が安心して暮らしていくことのできる「地域包括ケアシステム」の構築を目指して、妻有地域(十日町・津南町)にある福祉関連の事業を行う12の社会福祉法人で結成されました。「妻有(ここ)で生まれ 妻有(ここ)で育ち 妻有(ここ)で暮らす」を理念に、社会福祉法人同志の横のつながりや行政との連携を深め、より質の高い福祉サービスの提供と人材育成、福祉の仕事のイメージアップ、経営の安定化などに取り組んでいます。



妻有地域包括ケア研究会 会長 松村 実さん

ふるさと妻有ならではの新しい福祉のシステムを。



■訪問介護

可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、訪問介護員(ホームヘルパー)が利用者の自宅を訪問し、食事・排泄・入浴などの介護(身体介護)や、掃除・洗濯・買い物・調理などの生活の支援(生活援助)をします。



■訪問診療

通院が困難な患者さんの自宅へ定期的に医師が訪問し、計画的に健康管理を行います。地域の病院や介護事業者と連携・協力しながら、患者さんが在宅で安心して療養生活を続けられるよう、総合的にサポートします。



■地域の介護予防活動

地域の高齢者が定期的に集会所などに集まり、介護予防運動や脳トレを行い、お茶のみなどを通して交流を深めています。



■ふれあいいきいきサロン

高齢者や子どもなど、地域の人のつながりを深める自主活動の場です。地域で交流の場をつくることで地域住民の関心を深め、助け合いを育む地域づくりに繋がります。



■地域懇談会

地域住民が日頃感じている生活のしづらさ、心配事といった「課題」について意見を出し合い、これからの地域をどうしていきたいか、何が出来るのかを住民自ら考えています。



■十日町手話サークル

手話奉仕員養成研修を受講するため定期的到手話を勉強しています。

地域に浸透させていくことが必要です。十日町市ろう者福祉協会では、毎年、手話奉仕員養成研修を開催し、手話を地域に広げています。やがては、地域全体で意思疎通ができることを目指します

■福引き大会

施設内が笑顔と歓声でいっぱい! (ケアセンター三好園しんぞ)



みんなのまちづくり

日常生活に不安や困難を抱える人を、地域全体で支え合いができる環境づくりを推進して、すべての市民が、生涯を通じて自分らしく心豊かに暮らせるまちづくりを目指しています。

人にやさしいまちづくり
【福祉・介護】

地域で支え合い 安心して暮らせるまちに

Peace of Mind from Society-Wide Support

Tokamachi City is aiming to create an environment where people who have difficulty in their daily life can access the support they need. We hope to create a society where all citizens have the freedom to be themselves and live an enriched life.

将人与人之间的纽带铭刻于心

我们促进建设能够让地区所有居民互相支持的社会环境，以帮助在日常生活中遇到困难或感到不安的人。我们希望创造一个全体市民一生都能自由自在、过上充实人生的社会。

地域での暮らしを支える

愛着のある地域、我が家で、健康で自分らしい暮らしを長く続けたいという願いは誰もが抱くことです。この願いを実現するために、まずは介護が必要になることをできるだけ遅らせるよう、介護予防の実践することが重要です。介護予防の普及・啓発により、市内には軽運動だけでなく、仲間づくりも含めた住民主体の「通いの場」が増えています。

さらに、高齢者のニーズや課題の把握に努めながら、地域力を生かした住民同士の支え合いの輪を広げ、地域で安心して生活できる環境づくりへの後押しも行っていきます。

また、介護を要する状態になっても、この地域で暮らすために医療介護の関係機関が連携し、他職種協働により一体的に暮らしの支援ができる体制整備を推進していきます。

ろう者の言葉「手話」による共生社会の推進

ろう者の自立と社会進出をより進めていくために、ろう者の言葉である「手話」をより多くの人が学び、



■伝統工芸士の布川さん
十日町 明石ちぢみは30以上ある工程のすべてが手仕事。
どの工程も気が抜けない真剣勝負です。

新たなビジネスへの挑戦を応援し、
地場産業や商工団体の支援、
市の特産品や資源を発信する
シティプロモーションなど、
地域に活力を生む経済施策に
取り組んでいます。
農林業では、需要に応じた
高品質農産物生産を基本に、
市場開拓支援や担い手の育成、
多様な集落営農システムの確立、
6次産業化などに取り組んでいます。

3
活力ある元気なまちづくり
【産業】

十日町市のポテンシャルを 最大限生かして

地域に活力を生む
経済政策を推進

企業の設備投資促進と雇用創出
を図るため、企業設置奨励条例に基
づき県内でもトップクラスの支援措
置を設けて施設・設備の新設や増設
を支援しています。また、ビジネスコ
ンテスト「トオコン」を核として起
業創業を促進しています。

そのほか、市内企業の経営力強化
のための相談業務や、取引先開拓支
援、人材育成支援をするとともに、
地場産業のきもの産業振興策とし
て「十日町織物産地特別招待会」等
の消費拡大事業に対する支援にも
力を入れています。

併せて、物産や観光資源などのプ
ロモーションも積極的に展開し、十
日町産品の情報を首都圏を中心に
発信して販路拡大に取り組んでい
ます。

世界が注目する
活力ある農林業の
推進

市は、世界の人々に味わってもら
いたい優れた食を持つ地域として、
国からSAVOR JAPAN（農泊
食文化海外発信地域）として認定さ

れました。農村環境など優れた素材
を磨き上げ、海外のお客様を積極的
に迎え入れることで、より活力ある
地域を目指しています。

日本一のブランド米「十日町産魚
沼コシヒカリ」や「酒米」「そば」な
どの高品質生産を進めています。林
業でも、森林整備や間伐材の利用拡
大などに取り組み、活力ある農林業
の実現に努めています。



きもの老舗株式会社青柳で、
主に振袖や訪問着の企画・デザイ
ン設計を担当しています。出身は
長岡市。長岡造形大学でテキスタ
イルデザインを学んでいたとき、
先生の紹介でこの会社を知りまし
た。きものまち十日町の伝統を
背負い、自社一貫体制できものづく
りに取り組む職人の方々のプロの
仕事に魅せられて入社しました。
たくさんあるそれぞれの工程の先
輩方の手技や古典の意匠を学び受
け継ぎながら、常に時代の 트렌
ドを感じ取り、新しさを加えてい
くことも大事。着てよかったと言
われるきもの、現代において美し
いと言われるきものを作って、き
ものへの関心を高めていきたいと
思っています。

株式会社青柳 企画設計部 RSE
高野 美穂子さん



着てよかったと言われる
きものを作っていきたい。



吉澤織物株式会社と市工務部
で、主にデザインと手延べという
工程を担当しています。十日町明
石ちぢみは30以上の工程を経て作
られますがそのすべてが手仕事。
入社以来じっくり全工程について
学び、いくつかの工程を担当し技
を身につけその上でデザインを
学びました。2017年31歳の秋
に、実務経験12年以上をもって受
験資格となる十日町明石ちぢみの
伝統工芸士認定試験を受験し無
事合格。翌年2月に伝統工芸士の
称号を得ることができました。新
潟県内では最年少とのこと。今後
は伝統工芸士として、先輩から受
け継いだ技術と精神を次の世代へ
つないでいきたいですね。



十日町明石ちぢみを次の
世代へ伝承していきたい。

吉澤織物株式会社と市工務部
十日町明石ちぢみ 伝統工芸士
布川 大悟さん



妻有ビール
市が主催するビジネスコンテストに提案し、クラフトビールの醸
造会社を設立した高木千歩さん。2018年2月に初出荷しました。

■雪室低温倉庫が完成
市も助成する中、JA十日町では
雪冷熱を利用した米備蓄倉庫を
整備しました。本施設の稼働に
より、さらにおいしい市内産米
の供給に努めます。



市が主催するビジネスコンテスト「トオコン2017」



■SAVOR JAPAN 認定書授与
海外に発信すべき優れた食の地域として2017年に国の認定を受けまし
た。豪雪地から生まれた「雪国の伝統食」と「農泊」を軸に、地域活性化を
進めます。

Reaching Our Full Potential

Through an economic policy designed to energize the region, Tokamachi City is supporting entrepreneurship and business growth, alongside local industry and business associations, and city promotion. Our agriculture and forestry industry, focusing on high-quality production that meets consumer demand, is transforming through "sixth-sector industrialization", diversification of community farming systems, and support programs for worker training and market development.

最大限度发挥十日町市的潜力

我们积极筹措促进地区活力的经济政策，包括为迎接新商机带来的挑战的支援工作、对本地产业及工商团体的扶助工作，以及将本市特产和资源等发扬光大的城市推广工作等。在农林业方面，响应市场需求，以高品质生产为基础，支持市场开发和领导者培训，确立多样化的村落农业经营体系，推进第“六次产业化”等。



SUP (スタンドアップパドル)

「十日町市の自然を遊び尽くしてもらいたい」という思いで、数年前から市内外の有志が集まり、山や川などでさまざまなアウトドアを楽しんでもらえるよう道具やコースなどを整備しています。グリーンシーズンには、水上の遊びSUP (スタンドアップパドル) やカヌー、トレッキングなど…。ホワイシーズンには、長靴でも遊べるエアボードスノーバイク、スノースケートや雪の上を歩けるスノーシューなど…。残雪と新緑が楽しめる雪上キャンプや森の中をポールで歩くノルディックウォークも人気です。アウトドアのメニューをどんどん増やして、十日町市をアウトドアのメッカにしたいですね。



有限会社湯米心 (トーマイハート) まつのやま 常務

村山 英明さん

アウトドアを楽しむなら
自然に恵まれた十日町市へ。



■雪国体験「かんじき」

かんじきをつけて雪原をお散歩。ほかに、ほんやら洞(かまくら)や囲炉裏、雪合戦、ソリ遊びなど。雪国の暮らしを楽しんでもらう体験メニューを用意しています。



■十日町雪まつり (毎年2月第3金・土・日曜日)

巨大な雪像ステージで開催する「雪上カーニバル」ほか、雪の芸術作品や地元グルメが楽しめる「おまつりひろば」など盛りだくさん。



■信濃川ラフティング体験

十日町市の南北に流れる日本一長い川・信濃川でラフティングを楽しむ体験ツアーを開催しています。



■越後まつだい冬の陣 (毎年3月第2土・日曜日)

全国から集まった戦士たちが雪中鉄人レースに挑む「のつとれ!松代城」をはじめ、「雪上神輿合戦」「花火大会」「出陣歌謡祭」「食い倒れ横丁」など、雪国を元気に楽しめるイベントです。



■大蔵寺高原キャンプ場 (雪上キャンプ)

天山水山の中腹、標高700メートルに位置する大蔵寺高原。緑あふれる高原には牧場や池があり、四季折々の自然やアウトドライブ、さまざまなアクティビティを楽しめます。



大地の芸術祭や冬のイベントをはじめとする個性的な催し、温泉や棚田、国宝・火焔型土器など観光資源が豊富な十日町市。スポーツや文化事業、ボランティア活動などを含めた総合的な観光交流事業を通して、「怒涛の人の流れ」を生む交流都市を目指しています。

活力ある元気なまちづくり
【観光・交流】

怒涛の人の流れを生む 交流都市を目指して

Generating Waves of Exchange

Tokamachi City is rich in resources for tourism with unique events, including the Echigo-Tsumari Art Triennale and winter-inspired events; onsens; rice terraces; and cultural assets such as the Flame-style Pottery, a National Treasure. Tourism utilizing these assets while telling a story, and providing an encounter with the region's food culture and history is gaining popularity. We hope to generate a continuous "flow of people" through comprehensive tourism and exchange programs that integrate sports and cultural programs, and volunteer activities.

构建“汹涌人潮”的交流型都市 / 观光・交流

十日町市举办有“大地艺术节”及冬季活动为代表的个性活动，还有温泉、梯田、国宝“火焰型土器”等丰富的观光资源。我们希望藉由包含体育运动、文化事业、志愿者活动等综合观光・交流事业，来构建“汹涌人潮”的交流型都市。



■日本三大薬湯・松之山温泉郷

ら、田舎体験・自然体験などの「ゆっくりとした時間」を楽しむ交流事業を展開し、雪国観光圏などの広域的な連携を深め、新たな人の流れを生み出していきます。

豊富な地域資源を活用して魅力を発信
近年、地域の歴史や食文化にふれるストーリー性のある観光が注目を浴びています。市には、縄文時代から続く様々な貯蔵食や国宝・火焔型土器に代表される雪国文化、日本三大薬湯・松之山温泉郷をはじめとする趣ある温泉地、日本三大峡谷・清津峡や棚田が広がる里山の風景、各地域の伝統行事など地域資源が豊富にあります。これらを結びつけなが

雪を友として雪を楽しむ雪国のお祭り
十日町雪まつりは、日本海側最大の冬のイベントとして知られています。豪雪に耐えるだけでなく、雪を楽しむことから冬の生活を変えていくという発想から生まれた十日町雪まつりは、「現代雪まつり発祥の地」としての長い歴史が育んだ魅力にあふれています。
ほかに地域ごとに個性豊かな冬のイベントがあるほか、現代アートと冬花火が融合した「越後妻有雪花火」を展開し、これら全てを「スノーカントリーフェス in 十日町」として楽しむことができます。

朝焼けの信濃川

縄文時代から続く素晴らしい歴史文化。雪などが織りなす里山のストーリー。十日町市では、日本の美や平和を象徴する国宝・火焰型土器をはじめとする縄文文化や、豪雪の中で育まれた地域文化を世界に向けて発信し「ふるさとを愛する心」を醸成するために様々な取組みを行っています。

5
活力ある元気なまちづくり
【歴史文化】

たから

地域の財を未来へ

はるか昔から育まれた素晴らしい歴史文化

市には、厳しくも豊かな自然環境のもと、太古から育まれてきた素晴らしい歴史文化があります。2018年に策定した「十日町市歴史文化基本構想」では、市の歴史文化の特徴を「豪雪とともに生きてきた人々の知恵が育んだ歴史文化」「縄文時代から受け継ぐ『豪雪と共に生きるくらし』『豪雪を友とするくらし』」とまとめ、先人たちが培ってきた歴史文化の証である文化財を「地域の財（たから）」として後世に継承していくための指針を定めました。

「美」と「平和」の象徴
縄文文化を
世界に向けて発信

「国宝・火焰型土器」は、今から5千年前につくられた縄文土器で、国宝としては最古のものであり、「日本の美」の原点です。また、人々が自然と共生しながら1万年以上にもわたり平和に暮らした縄文時代は、世界でも他に類を見ない文化を有していたといえます。私たちは、「美」と「平和」のシンボルである国宝・火焰型土器とともに、縄文文化を世界に向けて発信していきます。

地域文化の発信拠点
「新十日町市博物館」
の建設

東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年の6月には、「新十日町市博物館」を開館します。これまで受け継がれてきた市の歴史と文化についてより深く理解し、誇りをもち、その魅力を国内外に発信する拠点としてこれからも活動していきます。

地域の財（たから）を未来に繋ぐために…



博物館所蔵の「明石ちぢみ」

最近、「縄文」が大変ブームになっています。2017年開催の京都国立博物館の国宝展に続き、2018年は東京国立博物館で、史上初すべての「縄文国宝」が一堂に展示されます。さらには「ジャポニスム2018」において、日本代表としてフランスのパリで国宝・火焰型土器が展示されるなど、国や大手企業とのコラボレーションも多くなってきました。

あわせて「織物などの伝統文化」や「地域に伝わる先人の知恵」などを「地域の誇り」として再認識することが盛んになってきました。

これらの縄文時代から続く「地域の財（たから）」を世界にむけて発信する拠点として新博物館の完成を楽しみにしてください。

十日町市博物館 館長
佐野 誠市 さん



市指定文化財・旧村山家主屋でのボランティアによる清掃活動



国宝指定を記念して2000年から続く「笹山じょうもん市」



■国宝・火焰型土器 指定番号1（十日町市博物館所蔵）
市内笹山遺跡から出土し、煮炊きの器でありながら過剰なまでに装飾され、圧倒的な造形美を誇ります。2020東京オリンピック・パラリンピックの聖火台モチーフに採用されるよう要望活動を行っています。



2020年6月に開館を予定している新十日町市博物館の完成イメージ。新博物館では「縄文時代と火焰型土器のクニ」「織物の歴史」「雪と信濃川」の3つのテーマにより展示を行います。

Promoting Our Regional Treasures for the Future

Tokamachi City, situated in the heart of a heavy snowfall region, has a unique history and culture woven amid the snow and plentiful nature of the satoyama. It can be traced back to the Jomon era, when people living in this area crafted kaen'gata doki, ancient pottery designated a National Treasure that symbolizes peace and the beauty of Japanese art. We are working to promote our satoyama culture to the world in order to foster a love for our homeland.

* Jomon era: 10500 - 400 BC

将当地的财富传至未来

这里有从绳文时代延续至今的优秀历史文化，有由雪等要素编织而成的山村故事。在十日町市，为了培养“热爱故乡之心”，积极开展各种各样的活动，如向全世界介绍以象征日本之美和和平的国宝・火焰型土器为代表的绳文文化、在大雪中孕育而成的地域文化等。

※縄文時代：公元前 10,500 年左右～400 年左右



越後妻有文化ホール・十日町市中央公民館「段十ろう」外観

十日町市民吹奏楽団は、市の消防音楽隊と吹奏楽のサークルが一つになって1974年に結成されました。年2回の定期演奏会と月8〜10回の練習を軸に、消防署や市、福祉施設からの依頼による出張演奏なども行っています。段十ろうという素晴らしいホールを作っていただいたので、ここを拠点に妻有地域の音楽文化がさらに豊かに育ってほしいですね。楽団としても、もっと多くのメンバーを集めて、よりよい演奏を市民の皆さんに楽しんでもらいたいと思っています。



十日町市民吹奏楽団 団長
近藤 和也 さん

段十ろうを拠点に音楽文化をさらに豊かにしていきたい。



■女子レスリング日本代表凱旋報告

リオデジャネイロ五輪の凱旋報告で十日町市に訪れた女子レスリング日本代表選手団の皆さん。



■桜花レスリング道場

オリンピックでの勝利を目指して桜花レスリング道場で合宿する女子レスリング日本代表の選手たち。



■十日町市吉田クロスカントリー競技場

FIS(国際スキー連盟)公認コースとして、全日本選手権など全国規模の大会が毎年開催されています。夏期は芝生広場とローラースキーなどに利用できます。



■第50回記念十日町市美術展(段十ろう)



■当間多目的グラウンド(クオアチアピッチ)

国内最高水準の天然芝ピッチとして、サッカーの年齢別日本代表やJリーグ等のキャンプ地として利用され、高い評価を得ています。

Connecting with the World through Culture, Art and Sport

Tokamachi City is promoting culture and the arts through development of downtown spaces for exhibition and performance, including the newly opened Echigo-Tsumari Auditorium. Likewise, we are improving our sports facilities in order to open doors for sports exchange, and provide opportunities for all citizens to actively participate in sport and exercise throughout all stages of their life.

面向全国开展文化・艺术・体育活动

新开设的越後妻有文化中心“DANJURO”，与市中心的设施通力合作，促进城市的文化艺术熏陶建设。我们以“毕生运动”为基本理念，鼓励市民积极参与各项有助于健康及提高体能的活动。与此同时，我们积极筹备建设各类体育设施，希望能通过体育运动吸引更多的观光旅客，使交流活动更加活跃。



■十日町情報館



■十日町市立里山科学館「森の学校」キョロロ

越後妻有文化ホール・十日町市中央公民館「段十ろう」で演奏する十日町市民吹奏楽団

新たにオープンした越後妻有文化ホール・十日町市中央公民館「段十ろう」を、まちなかステージと連携して文化芸術のかおるまちづくりを推進します。また、生涯スポーツの推進を基本理念とし、市民が健康・体力づくりに積極的に参加できるとともに、スポーツを通じた誘客や交流を活性化するため各種スポーツ施設を整備します。

活力ある元気なまちづくり
【文化・スポーツ】

文化・芸術・スポーツで 全国へ世界へ発信

心と体をつくる スポーツの推進

市では、スポーツ健康都市宣言を基本理念に掲げ、「生涯スポーツの推進」「競技スポーツの向上」「スポーツを通じた地域の活性化」「スポーツ施設環境の整備」を基本方針とし、様々な事業に取り組んでいます。市民と行政が一体となつて、スポーツや運動健康に対する認識を深め、生涯スポーツの振興を推進します。また、スポーツを通じた交流人口の拡大、ジュニア層の競技力向上、市民一丁に即したスポーツ環境の充実に取り組んでいます。

豊かな人間性を育む 文化芸術の振興

越後妻有文化ホール・十日町市中央公民館「段十ろう」で、著名なアーティストによる質の高い芸術文化鑑賞の場を提供し、市民全体の芸術に対する関心を高めていきます。加えて市民の日頃の学習練習成果発表の機会も充実させます。「まちなかステージ」と称する、中心市街地に整備された、市民活動と交流のためのそれぞれの拠点施設と連携し、あらたなにぎわい拠点とします。また、地域の文化芸術活動を活発にするために、文化芸術団体の支援育成を引き続き行います。

■姉妹都市イタリア共和国 コモ市との交流



コモ市守護聖人祭（聖アッボンディオ祭）への出展

■国際交流員の取組み



Cook with me (国際調理教室)



外国人きものツアー

■クロアチア共和国との交流



十日町産業フェスタでのクロアチアブースの出展



クロアチアのクラブ（ア・カベラ）グループを招へいし、越後妻有文化ホール「段十ろう」にてコンサートを開催



クロアチア共和国スポーツ庁長官ヤニツァ・コステリッチ氏の来市・クロアチアビッチの視察



駐日クロアチア共和国大使夫人による一般市民対象のクロアチア料理講習会



きものまつりでの駐日クロアチア大使ドラジェン・フラスティッチ氏ご家族



クロアチアからの国際交流員を招いてのホストタウン推進事業 学校給食「クロアチアメニューの日」（水沢中学校にて）

コモ市からの料理研修生

イタリア共和国コモ市との姉妹都市交流や
クロアチア共和国とのホストタウン推進事業などの
国際交流事業のほか、
市では国際交流員（CIR）や
外国語指導助手（ALT）を市内に配置し、
インバウンド事業の推進や
市民の英会話能力の育成など
様々な取組みに力をいれています。

活力ある元気なまちづくり
【国際交流・インバウンド事業】

多様性のある 国際化社会をめざして

Aiming for a Diverse Global Society

Tokamachi City is actively participating in international exchange projects with its sister city, Como, Italy, and with the Republic of Croatia as a Tokyo 2020 Olympic and Paralympic Games Host Town. Also, the city employs foreign Assistant Language Teachers and Coordinators for International Relations (JET Programme), promotes the development of English speaking skills among citizens, and coordinates various cultural exchange and inbounds tourism projects.

面向多样化的国际社会

国際交流方面、十日町市はクロアチア共和国 2020 東京奥运会の海外集訓地、还和意大利的科莫市是友好城市。此外，市内还配备了国际交流员（CIR）和外语指导助手（ALT），在市民的英语会话培训、与外国观光游客的文化交流、促进等方面付诸努力。

市では国際化に向けての人材育成やインバウンド事業推進のため、海外から国際交流員（CIR）を招致し、市民の異文化理解のための交流活動の推進や、市の魅力や文化を発信する事業に取り組んでいます。

国際化に向けての
人材育成やインバ
ウンド事業を推進

■国際交流員の取組み

国際化に向けての
人材育成やインバ
ウンド事業を推進

市では国際化に向けての人材育成やインバウンド事業推進のため、海外から国際交流員（CIR）を招致し、市民の異文化理解のための交流活動の推進や、市の魅力や文化を発信する事業に取り組んでいます。

れました。これからは、スポーツはもとより、文化経済的な面での交流を推進していきます。

■姉妹都市イタリア共和国
コモ市との交流

「絹」で結ばれた二つの都市より深い絆を紡ぐために

イタリア共和国コモ市は、十日町市と同じく絹製品の産地としても名高く、そのことが縁となつて1975年2月27日に姉妹都市提携を締結しました。

2015年に姉妹都市提携40周年を迎えたことを契機に、2016年からは、食などの両市の生活文化を紹介する取組みを進め、文化面での相互交流が盛んになっています。

■クロアチア共和国との交流

スポーツ交流をもとにさらに深い交流を求めて

FIFA 2002年日韓ワールドカップキャンプ地としてクロアチア代表チームを受け入れたことから交流がスタートしました。以来16年間にわたり交流を深めてきました。

2016年には、「2020東京オリンピックパラリンピック大会におけるホストタウン」として認定さ

上越魚沼地域振興快速道路「八箇峠道路」の一部、八箇インターチェンジ(十日町市)から野田インターチェンジ(南魚沼市)間が開通(2017年11月25日)

十日町市の宝である豊かな自然環境を保全しながら持続可能な循環型社会を目指します。また、豪雪地帯特有の課題を克服し、社会基盤の整備、防災体制の強化、医療体制の充実、中山間地域の活性化を推進することで、市民が安心して快適に暮らせる生活環境づくりに取り組んでいます。

安全・安心なまちづくり
【生活・環境・医療】

自然・人・地域が 共生できる環境を

地域活性化に
つながる地域高規格
道路の整備

2017年11月25日に八箇峠道路が一部供用開始され、市としては念願の高速交通体系の第一歩を踏み出しました。市は引き続き、八箇峠道路の一刻も早い全線開通と「(仮称)十日町道路」の早期事業化に向けて国県に働きかけを行っていくとともに、アクセス道となる(仮称)市道高山水沢線の整備やインターチェンジ周辺の土地利用計画の策定に取り組むなど、上越魚沼地域振興快速道路の受け入れ体制を整えていきます。

多種多様な
災害に迅速に対応
するために

市民の生命と財産を守るために、迅速かつ確実に多種多様な情報が伝えられるように「防災情報通信システム」の整備に取り組んでいます。消防本部では、防災拠点機能をより強化するとともに、屈折はしご付消防ポンプ車を更新配備し、市民の安全安心の確保を図っています。

医療と福祉の連携で
安全・安心な暮らし
を実現

医療と福祉の充実のために、十日町病院の隣接地に県立看護専門学校を含む医療福祉総合センターの整備をします。また、十日町病院の早期改築を支援するとともに、病院利用者の利便性向上の取り組みを推進します。

中山間地集落の
暮らしを守っていく
ために

全国でも先進的に取り組み、任用隊員数も全国トップクラスの「地域おこし協力隊」。外部の意欲ある人材と地域の潜在的な力を結びつけながら、高齢化集落支援事業を進めます。2018年2月末日現在で29人の協力隊退任者とその家族24人が地域に定住していて、市内定住率67.4%は全国平均を大きく上回っています。



■医療福祉総合センター

県立十日町病院北側に県立看護専門学校を含む複合施設を整備します。休日一次救急診療センターを移転整備することで、十日町病院との連携を強化し、医療体制の充実を図ります。(写真はイメージです)



■新消防庁舎



■地域おこし協力隊

Coexisting with Nature and One Another

We care deeply about conserving our rich natural environment, and are striving to become a sustainable society. We are also working to overcome the unique issues we face as a heavy snowfall region, while stimulating revitalization of our hilly and mountainous areas, and strengthening our infrastructure, disaster-prevention measures and healthcare systems. We hope to create an environment where our citizens can live comfortably with peace of mind.

构建自然・人类・地区和谐共处的环境

丰富的自然环境是十日町市的瑰宝。我们希望在保护好这份瑰宝的同时，创建可持续发展的循环型社会。并且，我们也在克服降雪量大地区特有的问题、整顿社会基础、强化防灾体制、充实医疗体制、促进中间农业、山间农业地域的活跃性等方面做出了各种努力，致力于为市民提供安心愉悦的居住环境。

2016年6月24日、市民交流センター「分じろう」で開催されたカフェ＆ライブ「ART MIX CAFE with Sound Dialogue」。「分じろう」「十じろう」では、市民の思いが次々と形になって実現化され、にぎわいと市民活動の広がりを生み出しています。



まちづくりの実現のために
【協働のまちづくり・行財政改革】

すべては 市民のために

協働のまちづくり

2015年に、市における、まちづくりの基本を定めた「十日町市まちづくり基本条例」が施行されました。市民がまちづくりの主役であることを共有し、市民・市議会及び行政の役割を明確にした上で、多様な主体が「公共」を支える協働によるまちづくりを進めています。

効果的・効率的な
行政運営の実行

市民の目線に立った行政サービスを提供し、市民本位の組織へと改革を推し進めるため、行政改革の取り組みを進めています。第二次総合計画のまちづくりの目標値の項目と一体的に推進することで、限りある行政資源をより一層効果的・効率的に活用する自治体経営に取り組みます。

コンビニエンスストア等における市民サービスも、これまでの市税の納付や各種公共料金の納付に加え、マイナンバーカードを利用した住民票等の各種証明書発行も開始し、市民の利便性向上を図っています。

持続可能な
行財政運営に向けて

限られた財源や人的資源の中でも、経済対策をはじめ高度化・多様化する市民ニーズへ対応するために、より重要度や優先度の高い事業の選択と集中により事業効果を高めながら、民間への外部委託などによる行政運営の効率化と市民サービスの向上を図ります。

また、地方交付税の縮減への対応も考慮し、市債の繰上償還や遊休財産の除却、公共施設の新電力への変更など、将来の経費負担軽減も見据えながら、とおかまち応援寄付金など外部からの支援による新たな財源確保にも取り組み、持続可能な財政運営の確立を目指します。

Doing Everything for our Citizens

In Tokamachi City, the public sector exists as a society-wide system to support the socially vulnerable, and those who face issues that they cannot resolve alone. We are working to encourage cooperation between people, community, companies and non-profit organizations to address the ever-diversifying needs of our citizens.

为了全体市民

为了让社会全体成员相互支持，消解一己之力难以解决的问题、帮扶社会上的弱势群体，就有了作为组织机构的“公共”。在十日町市，我们随着社会情势变化多样的市民动态，协理市民与地区、企业与非营利组织（NPO）之间的各种问题，通力协作推进城市建设。



大人だけでなく子どもたちの意見やアイデアも取り入れて、「まちなかステージづくり」の各プロジェクトは進められています。

子どもからお年寄りまで
市民に愛される場所にしたい。

ひとサボは、十日町市の人と人と団体・団体同士をつなぎ、絆を紡いでいくことで、市民活動をより充実したものにするためのネットワークです。「市民の力でこのまちを盛り上げたい」という有志が集まり、2011年から活動しています。（分じろうと十じろう）は市のプロジェクト「まちなかステージづくり」の一環としてできた、市民活動の拠点となる双子の施設。計画の段階から市民が加わり、市民の手で市民の意見を反映させながらつくってきました。（分じろう）には「地元内外の人の『交流』の場」、（十じろう）には「地元の人の『活動』の場」としての機能を持たせています。2016年春にオープンし、今では市民の憩いの場、活動の場となっています。

まちなかステージ応援団 二代目団長
NPO法人 市民活動ネットワーク ひとサボ
コーディネーター
葦澤 篤さん



市民交流センター「分じろう」と市民活動センター「十じろう」の設計に係る協働の取り組みが評価され、2016年度グッドデザイン賞を受賞しました。また、受賞した1,229件のうち、特筆して優れているとして「グッドデザイン・ベスト100」に選ばれました。



■地域自治組織

2012年度に市内13の地域自治組織が発足。公共を支える重要なパートナーとして行政とも連携しながら地域づくりを進めている。（写真は、下条地区振興会が取り組んだ棚田展望台の整備）



マイナンバーカードを利用したコンビニでの各種証明書交付サービス



■とおかまち市民活動見本市 めっかめっか

市内のNPO法人や市民活動団体が一堂に会し、日ごろの活動の成果や魅力を発信するイベントです。



十日町市ホームページ

<http://www.city.tokamachi.lg.jp/>



Facebookページ

◎越後妻有 大地の芸術祭の里(十日町市・津南町)
<https://www.facebook.com/tsumari.artfield>

◎十日町市の防災情報
<https://www.facebook.com/tokamachi.bousai>

◎十日町地域おこし協力隊
<https://www.facebook.com/tokamachikyoryokutai>

◎ネージュのさんぽみち(十日町雪まつり)
<https://www.facebook.com/neige.sanpo>

◎十日町なか元気プロジェクト
<https://www.facebook.com/chukatsusinpo>

◎越後松之山「森の学校」キョロロ
<https://www.facebook.com/matsunoyama.kyororo>



Twitter

◎十日町市の防災情報
https://twitter.com/t_bousai

◎越後松之山「森の学校」キョロロ
<https://twitter.com/KyororoMuseum>



とおかまちプロモーションムービー



フルバージョン
約13分

ロングバージョン
約10分

ショートバージョン
約3分

発行／平成30年3月 新潟県十日町市

編集／企画政策課広報広聴係

〒948-8501 新潟県十日町市千歳町3-3 tel.025-757-3112

koho@city.tokamachi.lg.jp <http://www.city.tokamachi.lg.jp/>

制作／サンタ・クリエイト